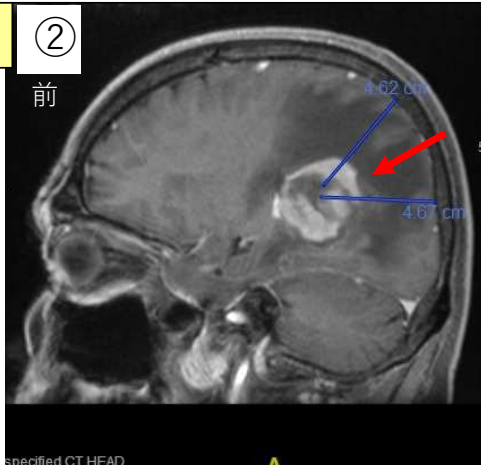


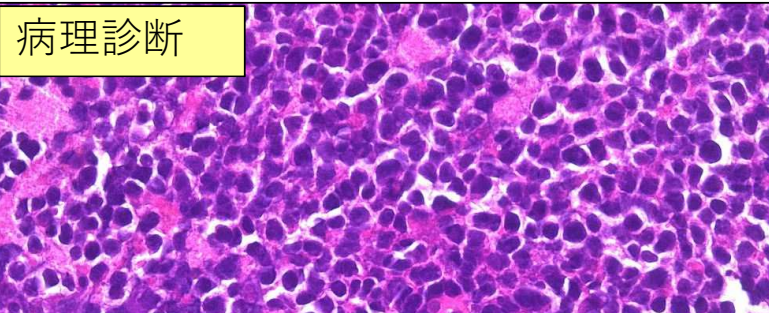
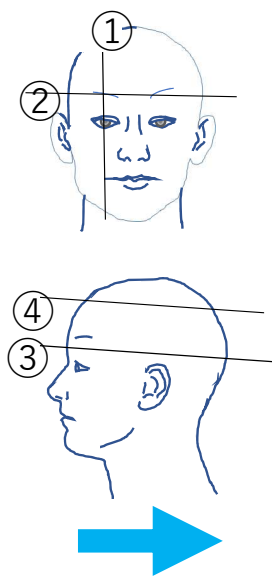
症例2：進行性の左片麻痺の精査で行った検査で右後頭葉に大きな脳腫瘍が見つかりましたが、画像上化学療法が有効な腫瘍の可能性があり、まず腫瘍生検を行いました



術前MRI

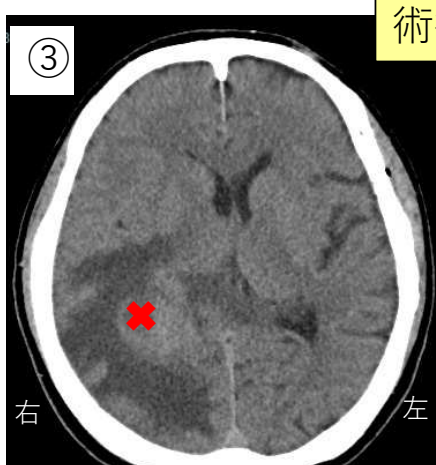


② 前

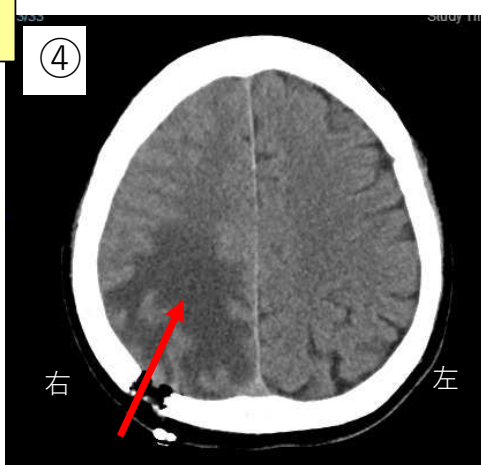


病理診断

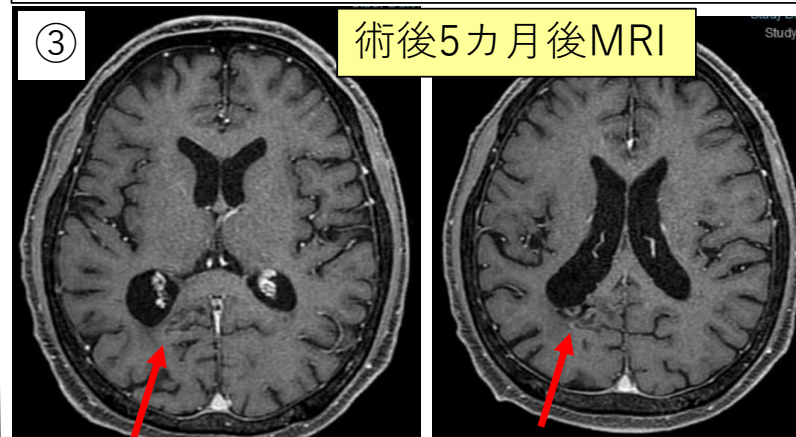
最終病理診断は悪性リンパ腫で、最も有効と考えられる化学療法を行い、症状は改善し画像上腫瘍は消失しました（残念ながら再発の可能性は高いです）。



術後CT



④



術後5カ月後MRI

右頭頂部に十円玉大の穴を開けナビゲーションバイオプシーキットで深部の腫瘍をピンポイントで生検しました。手術時間は1時間10分でした。

このように手術前の画像診断で、全摘出を最初から目指すか、生検術にとどめた方がいいのかを十分に検討する必要があります。